

- 「これからの時代に必要とされるリーダーシップ」として求められているのは、部下の自発的な成長や行動を促すタイプである。
- その理由としては、個々の能力・意識・意欲を高め、社員ひとりひとりが生き活きと働くことが、結果として組織力強化につながると考えられているからである。
- 必要なリーダーシップには、「柔軟に多様な見方ができること」「部下を育成できること」「意思決定ができる決断力とリスク管理能力」などの意識や能力が必要と考えられている。
- リーダーシップ養成のため実施している研修は、コーチングの他に、モチベーション、問題解決力、目標管理、人事評価などがある。
- コーチングと研修目的や内容で競合する可能性のある研修、すなわちモチベーション、7つの習慣、EQ、アサーション研修は、いずれも一定の成果を上げている。
- その中でも、コーチングとモチベーションの成果実感が強く、継続意向の強さにもつながっている。

調査企画：日本コーチ協会理事 森川里美
調査分析：調査研究委員会
調査協力：増田剛（マーケットプランナー）